

砂や小石は、逢瀬川の上流から運ばれてきたと考えられるので、河内小学校の川原のレキの資料を参考にして、川原のレキの変身について学習する。

小塩江小学校

1、地層の観察

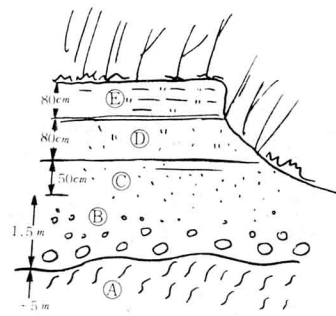
(1) 観察する場所

宇津峯山に通ずる、木曽部落の道
路沿いのがけ。

(2) がけから離れて地層全体を観察する。

① がけから離れて、地層が見通せる所に立って、がけの全景をスケッチする。

② 地層の重なり方に注意して、地層を書き入れる。そのとき地層のおよその厚さ、色など気付いたことを書き入れる。



③ この高台は、一番下に白と黒褐色のしま模様をした地層があり、その上には30cm大の円レキを含むレキ層が積もっている。地層の境はデコボコしている。また、このレキ層の上には桃色をした地層や、白っぽい地層が平に重なっているのが見られる。これらの地層が積み重なって、この高台をつくっていることがわかる。

④ 桃色の地層や白っぽい地層は目立つので、これらの地層を追いかけ、地層の広がりを探る。